

## 1 「本質的な問い」による単元構想について

○本単元の本質的な問いに対して、生徒は自分事として捉え、単元を通して友達や教師と協働しながら自己の考えを深めることができていた。昨年度から教科や総合的な学習において、実社会の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して自分の生き方に生かしていく学習活動を展開したことが効果的だったと考える。また、今回は修学旅行という体験学習と教科学習をつなげ、生徒が探究的な学習を進めていけるような例をできるだけたくさん教科担当が事前に準備し、提示したことも有効であった。

## 2 単元で育成を目指す資質・能力について

## 【知識・技能】

○継続した探究的な学習の結果、課題設定→調査→分析を繰り返し、自分の生き方や行動に生かしていく学習だと理解して取り組んでいることが生徒の振り返りから分かる。

## 【思考・判断・表現】

長崎と広島に落とされた原爆の違いについて調べたが、そこから核兵器の保有や、核兵器禁止条約について学びたいと思った。

長崎市民の交通手段としてバスや市内電車が多くの理由を調べると長崎の地形に特徴があった。国土の狭い日本で公共の乗り物の需要について考えたい。

○まとめの記述内容の評価において、感想を書くだけでなく、新たな課題に触れ、次時へとつながる記述ができた。

●評価生徒の記述について課題が残った。自ら考え、記述することが苦手な生徒にとっては友達や教師の支援が必要である。教科指導を含めて継続する。

## 【主体的に学習に取り組む態度】

○日頃から主体的に学習に取り組む態度を育成するため、教科学習でも言われたことをやるだけにとどまらず、工夫しながら学習に取り組んだり、自分の生活や学習に活用したりすることを意識して授業に参加することを推進しているが、1学期の肯定的結果77.5%から、以下のように主体的に学習に取り組もうとする生徒の割合が増加した。

授業中、自分の考えを持つようにしている（12/21現在）

国語	91.3	社会	90.2	数学	83.5	理科	85.7	音楽	83.5
美術	84.6	保体	91.1	技術	80.0	家庭科	88.9	英語	88.9

授業中、自分の考えや意見をわかりやすく表現しようとしている（12/21現在）

国語	82.6	社会	87.0	数学	78.0	理科	80.2	音楽	81.3
美術	87.8	保体	86.7	技術	79.8	家庭科	84.4	英語	87.8

○「My 学習計画表」に食べものをきっかけに、その食の歴史や外国とのつながりにつなげて学習を深めようとしていたり、歴史的な場所からそこに住んだ人の生き方を学ぼうとしたり主体的・協働的に考えることができた。

## 3 「デジタル機器」の活用

○導入の場面からスライドや資料の提示、アンケート調査や提出箱などを活用しながら進行できた。

○学習の進め方でさらによい方法があれば、教師も修正したり、生徒からも提案できたりするように提出箱を作り、「My 学習計画表」の様式を修正して、より効率的な方法を模索することができた。